

情報教育プロジェクト報告

塚野弘明*

(2006年2月6日受理)

情報教育プロジェクトでは、本年度4つの事業を実施した。

1. 小学校児童への情報教育支援事業（フレンドシップ事業の一環として）
2. 小・中学校教員対象のパソコン指導力向上研修会への支援。
3. 附属小学校の学校公開研究会への指導助言
4. 岩手県内の自治体における情報モラル教育についての講演

1. 小学校児童への情報教育支援事業

平成17年5月27日から12月16日までの期間に、盛岡市立河北小学校の全学年（特殊学級を含む）1回2時間、計28回のパソコン指導を実施した。この事業は、教育学部フレンドシップ事業の一環としても行ったものであり、教育実践研究Ⅱを履修した2年生から4年生までの24名の学生に小学生のパソコン指導方法を学習させ、上級生と下級生が組になって担当学年を決めて指導に当たった。本年度は、1, 2年生は基本的な操作やお絵かきソフトを使った作品作り、3年生以上は総合的な学習の時間におけるパソコン利用の仕方を指導した。

2. 小・中学校教員対象のパソコン指導力向上研修会への支援

平成17年8月2日、盛岡市立北厨川小学校、高松小学校、見前小学校にて盛岡市の小・中学校教

員対象のパソコン指導力向上研修会を支援した。平成17年11月30日、宮古市立花輪小学校にて宮古地区の小・中学校教員を対象にパソコン指導を実施した。研修会では、総合型教育用ソフト等の各種ソフトの操作方法、授業での利用方法、ホームページの作成方法などについて講習を行った。

3. 附属小学校の校内研究会への指導助言

平成17年12月15日に開催された附属小学校情報教育の校内研究会（金沢大学教育学部附属小学校との交流授業）において指導助言を行った。

4. 岩手県内の自治体における情報モラル教育についての講演

平成17年9月1日、一関市公民館、平成17年10月21日、大槌町公民館において「情報モラル教育」に関する講演を行った。近年、子ども達に急速に普及しているインターネットの利用実態やネットトラブル、ネット犯罪について解説し、家庭や学校における指導方法やモラル教育のあり方、トラブルに遭遇した際の対処方法について説明した。

*岩手大学教育学部附属教育実践総合センター